



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

CITATION:

彙報. 東南アジア研究 1965, 3(2): 152-158

ISSUE DATE:

1965-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/55071>

RIGHT:



目 次

- 1 東南アジア研究センター人事
- 2 東南アジア研究センター運営委員会名簿
- 3 東南アジア研究センター管理委員会記録
- 4 東南アジア研究センター昭和40年度研究担当教官
氏名簿追加
- 5 東南アジア研究センター昭和40年度研究担当教官
名簿追加
- 6 東南アジア研究センター学外研究協力者名簿
- 7 東南アジア研究センター昭和40年度次地調査計画
追加
- 8 東南アジア研究センター奨励金支給要項
- 9 東南アジア研究センター奨励金受給者
- 10 東南アジア研究センター主催シンポジウム計画内
容
- 11 東南アジア研究センター研究例会記事
- 12 国外からの訪問者
- 13 関係者往来

1 東南アジア研究センター人事

昭和40年4月1日付けをもって官制化された東南アジア研究センターは、所長および専任教授の任命に続き、研究職員について以下の人事決定をおこなった。同年7月16日付けをもって、外務事務官石井米雄が専任助教授として着任した。専任助手としては、同年7月1日付けをもって、農学部助手飯島茂、農学部奨学研修員荻野和彦が任命された。

2 東南アジア研究センター運営委員会名簿

(昭和40年8月1日変更分)

- 所 長 人 文 科 学 岩 村 忍
研 究 所 教 授
- 委 員 文 学 部 教 授 泉 井 久 之 助
- 〃 文 学 部 教 授 織 田 武 雄 (人文・社会
科学部主任)
- 〃 教 育 学 部 教 授 相 良 惟 一 (総務部副主
任)
- 〃 法 学 部 教 授 猪 木 正 道 (人文・社会
科学部副主
任)

- 〃 経済学部教授 堀 江 保 蔵 (総務部主任)
- 〃 理 学 部 教 授 芦 田 譲 治 (自然科学部
主任)
- 〃 医 学 部 教 授 美 濃 口 玄
- 〃 医 学 部 教 授 西 占 貢
- 〃 薬 学 部 教 授 木 島 正 夫
- 〃 工 学 部 教 授 滝 本 清
- 〃 農 学 部 教 授 四 手 井 綱 英 (自然科学部
副主任)
- 〃 農 学 部 教 授 川 口 桂 三 郎
- 〃 教 養 部 教 授 柴 田 実
- 〃 教 養 部 教 授 吉 井 良 三
- 〃 東南アジア研究 本 岡 武
センター教授
- 〃 東南アジア研究 石 井 米 雄
センター助教授

3 東南アジア研究センター管理委員会

開催月および議題

昭和40年6月22日

- 1 昭和40年度予算について
- 2 研究担当教官について
- 3 管理委員会の構成員について
- 4 所長事務代理について

4 東南アジア研究センター運営委員会

開催日および議題

昭和40年6月29日

- 1 東南アジア研究センターの現在と将来計画につ
いて総長と懇談

昭和40年7月6日

- 1 研究担当教官候補者について (追加)
- 2 東南アジア研究センター奨励金支給要項につ
いて
- 3 奨励金受給者の選考について
- 4 大学院学生の研究許可および現地調査参加許可
について
- 5 運営委員の変更について

昭和40年7月13日

- 1 医学部西尾委員の後任選出について

- 2 管理委員会委員推薦の件についての報告
昭和40年8月10日
- 1 研究担当教官候補者について（追加）
2 政治班研究計画追加について
3 教育シンポジウム第1回準備委員会について報
- 告
4 石井米雄助教授の就任について報告
5 研究担当教官（農学部助教授喜田大三）の退職について報告

5 東南アジア研究センター昭和40年度研究担当教官名簿追加

（昭和40年6月25日から8月20日まで）

部 局 名	職 名	氏 名	研 究 内 容
農 学 部	教 授	小 林 章	乾燥地帯・湿潤地帯における果樹栽培の研究調査
農 学 部	教 授	貝 原 基 介	簿記調査に基づくタイ国農業経営の研究
農 学 部	助教授	松 尾 嘉 郎	東南アジアの水田土壌の研究
農 学 部	助 手	久 馬 一 剛	〃
農 学 部	助 手	小 林 達 治	水田土壌中の空素固定性微生物の探究
農 学 部	助 手	河 津 一 儀	魚毒性成分含有植物の探索

6 東南アジア研究センター学外研究協力者名簿（昭和40年8月20日現在）

所 属	職 名	氏 名	研 究 内 容
東 海 大 学	文学部長	足 利 惇 氏	東南アジアにおけるインド的要素
京 都 大 学	名誉教授	藤 本 勝 次	マラヤのイスラム社会の調査研究
関西大学文学部	教 授	藤 原 利 一 郎	東南アジアにおける華僑発展史の研究
京都女子大学文学部	教 授	浜 田 秀 男	東南アジアの野生稲および栽培稲の生態的ならびに類的研究
帝塚山大学	助教授	伊 原 吉 之 助	東南アジア近代化の比較史的研究
東京医科大学歯科大学教養部	助 手	今 立 源 太 良	東南アジアにおける森林土壌動物の研究
広島大学教育学部	教 授	石 堂 豊	東南アジア諸国における社会教育の実態研究および教育事情の教育経営学的な研究
大阪市立大学法学部	教 授	神 谷 不 二	東南アジアとくにインドネシアにおける政軍関係
京都府衛生研究所環境衛生課	課 長	加 藤 彰 郎	インドネシアの環境衛生について特に風土病と衛生動物との関係
富山大学薬学部	教 授	木 村 康 一	東南アジアにおける薬用植物
奈良学芸大学	講 師	北 川 尚 史	東南アジアの苔類の研究
天理大学外国語学部	講 師	前 田 清 茂	村落における華僑
龍谷大学文学部	助教授	口 羽 益 生	マラヤならびにインドネシアの社会構造
天理大学文学部	教 授	中 村 孝 志	南方華僑史の研究
兵庫農科大学	教 授	佐 藤 孝	東南アジアにおける畑作の栽培学的研究
京都府立医科大学医動物学教室	研究員	正 垣 幸 男	東南アジアにおけるフィラリア・マラリアおよび寄生虫についての疫学的調査およびその対策について研究
神戸大学	教 授	高 木 太 郎	東南アジア諸国における教育制度の比較研究
東北薬科大学	教 授	高 橋 三 雄	フィリピンとタイ両国の薬用資源の化学的研究
財団法人アジア救済協会	医務部長	戸 田 圓 二 郎	タイ国におけるライ臨床および病理学的調査研究

所 属	職 名	氏 名	研 究 内 容
東京大学東洋文化研究所	講 師	築 島 謙 三	マライ人村落の自治体制と人倫意識
京都産業大学 京 都 大 学	教 授 名誉教授	上 田 弘 一 郎	東南アジアにおける竹林の生態学的研究
京都府立大学 農 学 部	助教授	渡 部 忠 世	東南アジアにおける畑作栽培の作物学的研究
大 阪 市 教 育 研 究 所	所 員	山 口 三 郎	東南アジア教育制度の比較研究
		山 本 利 雄	東南アジアにおける肺・心臓・外科の現状調査および指導
岡山大学農業生物研究所	教 授	小 林 純	東南アジアの河川の化学的研究

7 東南アジア研究センター昭和40年度現地調査計画追加

参 加 者	所 属	題 目	日 程	地 区
社会科学部	京 大 法 学 部	政治的近代化の研究	1965年8月29日～ 同年9月10日	南ヴェトナム, カンボジア, ラオス, タイ
猪 木 正 道				
自然科学部	京 大 農 学 部	農業水利本画およびかんがい排水に関する構造物の調査研究	1965年8月14日～ 同年8月28日	タイ
沢 田 敏 男				
小 林 章	京 大 農 学 部	乾燥地帯・湿潤地帯における果樹栽培の研究調査	1965年8月3日～ 同年8月30日	フィリピン, イラン, アフガニスタン, インド, タイ, 香港

8 東南アジア研究センター奨励金支給要項

東南アジア研究センターの養成計画にもとづく奨励金支給要項（昭和40年7月6日施行）

一 趣 旨

東南アジアに関する研究をしようとする優秀な研究者を養成確保するためこの要項をもうける。

二 奨励金受給資格者

東南アジアの研究に専念する京都大学の研修員又は研究生で、次の各号の一つに該当する者

- 1 博士の学位を有する者
- 2 大学院に五年（医・歯学系は四年）以上在学し、かつ所定の単位を修得した者
- 3 特に前各号にかかげる者と同等の研究能力を有すると認められる者

但し、常勤的な職についている者及び他から奨励金をうけている者を除く

三 採用人員

若 干 名

四 奨 励 金

奨励金は月額25,000円とし毎月支給する。なお研究調査費を必要とする場合は別に年額60,000円を限度として年2回にわけて支給する。

五 奨励金の打切

研究に専念することをおこたった場合又は研究の成果があがらないと認められた場合には、その翌月から支給を停止する。

六 期 間

1カ年とする。

七 選 考

奨励金の支給を受ける者は、運営委員会の議を経て所長が決定する。

附 則

この支給要項は昭和40年7月6日から施行し、昭和40年6月1日から適用する。

9 東南アジア研究センター奨励金受給者

(昭和40年8月20日現在)

4名

海外技術協力事業団 3名

氏 名	所 属
水 野 浩 一	東南アジア研究センター研修員
矢 野 暢	法学部研修員
坪 内 良 博	文学部研修員

10 東南アジア研究センター主催
シンポジウム計画内容

趣 意

東南アジアの水資源開発については、従来わが国の各方面から専門家が派遣され、調査研究あるいは開発計画の樹立に参画し、多大の業績をあげており、今後ますます強力な開発が望まれている。従来この地域における水資源の開発利用は農業・発電・上下水道・舟航等にわたっているが、このうち農業的利用が重要な役割を演じている。よって今回農林省、京都大学東南アジア研究センターおよび海外技術協力事業団の共催により、東南アジアにおける水資源の農業的利用開発に関係された専門家の参集を願い、その成果についてシンポジウムを開催することは、今後の技術協力推進の上に寄与するところが大いと考えられる。

要 領

- 1 テー マ 東南アジアにおける水資源の利用
- 2 主 催 農林省
京都大学東南アジア研究センター
海外技術協力事業団
- 3 期 口 1965年9月17(金)～19日(日)
- 4 場 所 比叻山国際観光ホテル
- 5 日 程 後 記
- 6 参 加 者 発表者20名(氏名後記)
討議参加者 23名
招 待 者 若干名
事 務 局 15名
- 7 議 長 安芸皎一(資源科学研究所理事長)
副議長 小川泰恵(農林省農地局建設部長)
〃 大戸元長(海外技術協力事業団理事)
- 8 事 務 局 農林省7名
京都大学東南アジア研究センター

日 程

第1日 9月17日(金)

受付 16:00

開会式 17:00

主催者挨拶

堀江保蔵(京都大学東南アジア研究センター所長代理)

小川泰恵(農林省農地局建設部長)

大戸元長(海外技術協力事業団理事)

筒井敬一(近畿農政局長)

特別講演

安芸皎一(資源科学研究所理事長)

久保田豊(日本工営株式会社社長)

京都大学総長招宴

第2日 9月18日(土)

1 東南アジアの水利開発計画の概要 8:30～10:00

座長:小林 泰(水資源開発公団理事)

補佐:久武啓祐

「東南アジアにおけるデルタの開発と水利用」
(出口)

「メコン河下流域総合開発計画と農業水利」(武田)

「東南アジアの水資源利用計画をめぐる政治的・経済的・社会的諸問題—とくにタイにおける経験をとおして—」(本岡)

2 水文学的にみた特徴 10:00～12:30

座長:佐々木四郎(農林省農地局参事官)

補佐:藤井 敬

「メコン河流域の水文調査」(竹内・久武)

「カンボディアにおける水文気象の特徴」(川合・加藤)

「ベンガル湾に発生するサイクロンとガンジス河口地帯の Coastal Embankment Project について」(宇和川)

「タイ国チャオピア河における塩水侵入と河川流量」(南)

昼 食 12:30～14:00

3 作物とかんがい水量 14:00～17:30

彙 報

座長：富士岡義一（京大教授）

補佐：四方田 穆

「カンボディアにおける作物栽培と農業水利」（加藤）

「カンボディアにおける水・土壌・生産力」（安尾）

「サンボール地域における土地利用の構想」（宮崎）

「サンボール地域のかんがい用水量に関する2, 3の測定」（川合・加藤）

「Some Experiments and Investigations on Rice Plants in Relation to Water in Malaysia」（松島）

「フィリピンにおける水利組織と水利用」（家永）
京都大学東南アジア研究センター所長岩村忍 招宴

18:00~20:00

第3日 9月19日（日）

4 かんがい排水計画および事業 8:30~12:00

座長：福田仁志（東大教授）

補佐：高瀬国雄

「東パキスタンの農業開発」（木村）

「カンボディアの農業水利施設」（田中）

「チャオピヤ・デルタの農業とかんがい」（友杉）

「南泰パタニー開発計画」（野田）

「タイ国 Nam Gam 流域農業開発計画について」（加藤、壺岐、松居）

「タイ国における農業水利開発とその経済性をめぐる2,3の考察」（木村）

「メコン河流域農業開発の自然および社会条件とその開発方式について」（菅原）

昼 食 12:00~13:00

総括討論 (1) 13:00~14:20

「モンスーン地帯における土地および水資源利用開発」 司会 安芸皎一

武田健策

総括討論 (2) 14:40~16:20

「土地および水資源利用開発面での今後の技術協力のありかた」 司会 大戸元長

井上嘉丸

閉会式 16:30

参 加 者

1 発表者

木村 学而	農林省農地局総務課企画調整室
宮崎 康生	同 計画部資源課
武田 健策	同 建設部設計課
加藤 宏	同 建設部開墾建設課
松島 省三	農業技術研究所物理統計部調査科長
出口 勝美	東北農政局八郎潟干拓事務所長
壺岐 国男	関東農政局計画部技術課
加藤 泰丸	科学技術庁資源局
木村 隆重	北海道開発局農業水産部土地改良課
木岡 武	京都大学東南アジア研究センター教授

南 勲	京都大学農学部助教授
竹内 俊雄	水資源開発公団計画部調査役
田中 義朗	同 計画部調査課
宇和川 正人	同 工務部設計課
安尾 正元	海外技術協力事業団総務部技術室
友杉 孝	アジア経済研究所調査研究部
松居 正治	電源開発株式会社海外協力部
野田 明義	同
菅原 道太郎	日本工営株式会社農地部
川合 尚	三枚コンサルタンツインターナショナル

2 討議参加者

小川 泰恵	農林省農地局建設部長
井元 光一	同 建設部設計課長
広野 正一	農林省農林水産技術会議事務局研究参事官
星出 暁	同 研究調査官
今井 富蔵	農業技術研究所長
中村 武夫	農業土木試験場長
金子 良	同 土地改良部長
中川 昭一郎	同 土地改良部第四研究室長
椎名 乾治	同 土地改良部第四研究室
酒折 武弘	近畿農政局長
黒沢 裕一	同 計画部長
西尾 辰雄	同 建設部長
福田 仁志	東京大学農学部教授

東南アジア研究第3巻第2号

内藤 利貞	東京教育大学農学部教授	吉田 公平	同	海外事業部長
石原 藤次郎	京都大学工学部教授	稲田 武之	同	開発調査部長
松尾 新一郎	京都大学工学部教授	中田 正一	同	国際農業研修会館
川口 桂三郎	京都大学農学部教授			長
沢田 敏男	京都大学農学部教授	斉藤 一夫	アジア経済研究所調査研究部	
速水 頌一郎	京都大学防災研究所所長	安芸 俊一	資源科学研究所理事長	
小林 泰	水資源開発公団理事	3 招待者	若干名	
大戸 元長	海外技術協力事業団理事			

11 東南アジア研究センター研究例会記事（昭和40年6月25日より8月20日まで）

年・月・日	講演者	題名
昭和40年7月15日	水野浩一（京大・研修員）	「タイ国東北部村落の家族形態と土地所有」
	築島謙三（東大・講師）	「マラヤ調査研究の中間報告」

12 国外からの訪問者（昭和40年6月25日より8月20日まで）

年・月・日	氏名
昭和40年6月26日	Mr. Ts'ao Yung-Ho, Chief, Division of Collection Keeping, National Taiwan University Library
昭和40年7月6日	Mr. Hobert C. Reynolds, Silliman University, Philippine
昭和40年7月12日	Prof. Brian Harrison, Dept. of History, University of Hong Kong
昭和40年7月15日	Dr. Myong Whai Kim, Head of Political Science, Director of Graduate School, Yonsei University, Seoul
昭和40年7月16日	Dr. David Wurfel, International Christian University, Tokyo
昭和40年7月31日	Dr. Prasert Na Nagara, Vice-President, Kasetsart University, Thailand
昭和40年8月5日	Mr. Robert Trumbull, Head of the Tokyo Branch, The New York Times

13 関係者往来（昭和40年8月20日まで）

氏名	出発	帰国	行先
戸田 圓二郎（財団法人アジア救済協会庶務部長）		40. 2. 8	タイ
香 西 茂（京大・法・助教授）		40. 2. 9	ビルマ・タイ・マレーシア・ラオス・ベトナム・インドネシア・カンボジア
西 田 龍雄（京大・文・助教授）		40. 2. 26	タイ
三 谷 恭之（京大・文・大学院）		40. 2. 26	タイ
藤 吉 慈海（京大・人文研・助手）		40. 3. 13	タイ・カンボジア・ビルマ・ベトナム・台湾
南 勲（京大・農・助教授）	40. 3. 1	40. 3. 21	タイ・カンボジア
築 島 謙三（東大・東洋文化研・講師）		40. 3. 31	マレーシア
飯 島 茂（京大・東南ア研・助手）		40. 4. 10	タイ・マレーシア・カンボジア
福島 徳寿郎（京大・法・教授）	40. 3. 8	40. 4. 21	タイ・マレーシア
清 水 敬次（京大・法・助教授）	40. 3. 8	40. 4. 21	タイ・マレーシア

		彙 報			
氏 名		出 発	帰 国	行	先
坪 内 良 博	(京大・文・研修員)	40. 6. 15		マレーシア	
前 田 成 文	(京大・文・大学院)	40. 6. 20		マレーシア	
口 羽 益 生	(龍谷大・文・助教授)	40. 7. 1		マレーシア	
寺 松 孝	(京大・結核研・助教授)	40. 7. 1		タイ	
渡 部 忠 世	(京都府大・助教授)	40. 7. 1		タイ	
福 井 捷 朗	(京大・農・大学院)	40. 7. 1		タイ	
矢 野 暢	(京大・法・研修員)		40. 7. 1	タイ・マレーシア	
梅 田 輝 世	(関学大・文・大学院)	40. 7. 5		マレーシア	
藤 本 勝 次	(関西大・文・教授)	40. 7. 5		マレーシア	
吉 井 良 三	(京大・教養・教授)	40. 7. 15		インドネシア	
前 田 清 茂	(天理大・講師)	40. 7. 15		マレーシア	
今 立 源 太 良	(東京医科歯科大・助手)	40. 7. 15		インドネシア	
酒 井 敏 明	(京大・文・大学院)	40. 7. 15		インドネシア	
小 林 章	(京大・農・教授)	40. 8. 3		フィリピン・イラン・タイ・インド	
小 林 達 治	(京大・農・助手)	40. 8. 4		タイ・マレーシア	
谷 口 敬 一 郎	(京大・工・助教授)	40. 8. 19		マレーシア	
入 江 恒 爾	(京大・工・講師)	40. 8. 19		マレーシア	
鈴 鹿 恒 茂	(京大・工・助教授)	40. 8. 19		マレーシア・タイ	
港 種 雄	(京大・工・講師)	40. 8. 15		マレーシア・タイ	
東 昇	(京大・ウィルス研・教授)	40. 8. 2		タイ	
河 津 一 儀	(京大・農・助手)	40. 8. 2		タイ・マレーシア	
川 口 桂 三 郎	(京大・農・教授)	40. 8. 2		フィリピン・タイ・マレーシア	
沢 田 敏 男	(京大・農・教授)	40. 8. 14		タイ	
南 勲	(京大・農・助教授)	40. 8. 14		タイ	